

## 2007 年度 小委員会活動成果報告

(2008 年 月 日作成)

小委員会名	アセトアルデヒドによる室内空間環境に関する アカデミックスタンダード小委員会	主 査 名：池田 耕一 就任年月：2007 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会 (企画刊行運営委員会)	委員長名：井上 勝夫 主 査 名：加藤信介
設 置 期 間	2007 年 4 月 ~ 2009 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アセトアルデヒドに関する室内空気汚染に関する設計・施工等の手法について検討</li> <li>・ 「アセトアルデヒドによる室内空気汚染に関する濃度等規準・同解説」を刊行する。</li> </ul>	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無	
	主査：池田耕一(国立保健医療科学院), 幹事：三田村輝章(足利工業大学), 委員：天野健太郎(竹中工務店), 鍵直樹(国立保健医療科学院), 熊谷一清(東京大学大学院), 関根嘉香(東海大学), 武廣絵里子(鹿島建設), 湯懷鵬(新菱冷熱工業), 長谷川麻子(熊本大学), 舟木理香(建材試験センター), 堀雅宏(横浜国立大学), 山口一(清水建設), 山田裕巳(積水ハウス)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2007 年度予算	200,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	1. 規準についての外部査読
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 規準原案の検討・作成 2. 外部査読の実施 3. パブリックコメント, 講習会の実施は来年度に繰り越された
委員会活動の問題点・課題	1. パブリックコメント・講習会の早期実施 2. 規準の完成 3. 講習会の開催

\* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。

\* 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

## 2007 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価)

総合評価 (4段階評価)	A <input type="checkbox"/> B    C    D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>企画刊行委員会所属の小委員会として今年度1年目の「アセトアルデヒドによる室内空間環境に関するアカデミックスタンダード小委員会」では、「アセトアルデヒドによる室内空気汚染に関する濃度等規準・同解説」を刊行するために、多くの議論を行ってきた。この議論を規準に取り込むために、多くの検討と時間をかけた。計画では、この規準に対してパブリックコメント及び講習会の実施を予定していたが、来年度へ繰り越すこととなった。そのため、来年度は、早期にこの計画を実施し、アカデミックスタンダードとして刊行することとする。</p>

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
  - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
  - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
  - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
  - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。